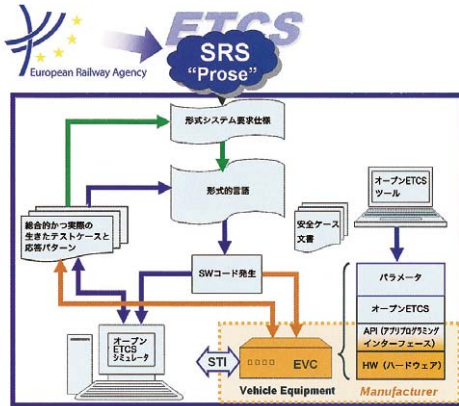


信号 相互運用性への開かれたアプローチ

原題: An open approach to interoperability
誌名: Railway Gazette International Vol.168 No.3 (2012-3) p51-53

最近、ヨーロッパのITEA2 (先進的ヨーロッパ情報技術2) 研究プログラムの中では、オープンETCS概念によってETCS車上ユニットの仕様を決め、それを開発するコスト効果の高いアプローチを提供しようとしている。その際、ベンダー囲い込みを避けるためインターフェース定義に対するオープンな標準やオープンソースのソフトウェアを用いることが目論まれている。システム開発の新しい選択肢、あいまいさの排除、採用と適応、共同と競争など本手法の特徴を紹介する。



出典: Railway Gazette International

オープンETCSの概念説明; 形式的仕様、標準ツールチェーン、共通シミュレータ、参照実施を含むいろいろなレベルのオープンソース成分を示している。

車両 既存列車を新たに一括受注するためのTSIの利用

原題: Anwendung der TSI auf Nachbauten von Fahrzeugen
誌名: ETR: Eisenbahntechnische Rundschau Vol.62 No.3 (2012-3) p34-39

著者は、フィンランド国鉄向け二階建車両 (一部は既存の要素から、一部は今後開発される要素から成る) のEU認証の例を挙げながら、相互運用に責任を負う適合性認証機関の観点から見た手順を説明している。



出典: ETR

新しいエクステリア・デザインをもつ新しいEd-車両。デザイナーとの集中的な議論によって、TSI PRMに従って要求される車体に対する外側扉のコントラストの問題を解決することができた。

環境 騒音低減対策の系統的評価

原題: Systemische Beurteilungen von Schallschutzmaßnahmen
誌名: ETR: Eisenbahntechnische Rundschau Vol.62 No.3 (2012-3) p64-70



出典: ETR
Calmmoon RailとStrailasticのレールシールド

著者は、鉄道騒音を防止するためにオーストリアでこれまで採用されてきた戦略の概要を示し、さらに、その対策には高いコストがかかることを明らかにしている。しかしながら、低コスト対策の実施には限界がある。

輸送 ドイツ鉄道の次世代高速車両ICx

原題: ICx a new train for Deutsche Bahn
誌名: RTR Vol.52 No.1 (2012-3) p29-33

ドイツ鉄道の長距離旅客部門は、インターシティとユーロシティ、およびICE1とICE2を、2016年から新しい電車に置き換えるプロジェクトを開始した。300編成にのぼる電車の製作についての契約がシーメンスと結ばれた。最高速度230km/hで7両編成 (3M4T) のバージョンと、250km/hで10両編成 (5M5T) のバージョンが製作される。車両長は28~29mと長く、編成あたりの車両数を減らすことができる。電動車1両の定格出力は1650kWである。車体は事故時の復旧の容易化 (短期間化) を考慮して鋼製とする。



出典: RTR

ICxの外観イメージ



WRT (海外鉄道技術情報) は海外主要鉄道誌の記事抄訳を含め、海外の最新の鉄道技術情報をタイムリーで紹介する季刊誌です。ここに紹介した記事はその一部です。
⇒ 新刊案内、バックナンバーは総研HP (www.rtri.or.jp) をご覧下さい。
⇒ 問合せ (研友社) TEL: 042-572-7157 HP: www.kenf.or.jp